

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事 -打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応 -日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携 -保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ 風の子クラブ ）

【名 前】（ 野口湧太 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

6 講義を受講して、1 番大事だと思ったことは、子どもたちが無事に登所しているかどうかの把握だと思いました。

理由としては、保育園のバス内での放置による死亡事故です。学童保育においてバス内の放置というのは、バス遠足以外はありませんが、登所する際にも誘拐されていたら？思いがけない事故にあっていたら？と思うとゾッとします。なので、自分が出欠確認をもつ際には、まず第 1 に、子どもがしっかり登所しているか、連絡がなく子どもが登所していない場合には、専任の方に確認してしっかりと連絡を取る。これを最優先にやろうと思いました。

さらに出欠確認に加え、子ども達の顔の様子もうかがうようにしていきたいです。ちょうどこの時期は暑くなって、体調不良の子、主に熱中症などの危険性もあるため、子どもの体調面も一緒に確認していこうと思いました。子どもたちは体調が悪くても、特に低学年は、自分から言えない子がいたり、自覚していない場合もあつたりします。そのためにも、子どもの体調管理は、よく観察し、少しでも違和感を感じたら、食欲のあるなしや熱を測るなどして、早期発見できるように努めたいです。水分補給をこまめにしない子もいるので、定期的に水分補給を促し、少しでも熱中症等のリスクを減らすようにしていきます。

保育中にどうしても起きてしまう子ども同士の喧嘩。トラブルは成長のきっかけであるため、万が一起きてしまった時には、大人たちが納得する結果で終われるようにしたいです。具体的な策としては、ゆっくり時間をかけ、まずなにがあったのか、原因はなにかと子どもに声をかける。喧嘩に関しても、上手く言葉にできない子がいるため、考えられる理由を 1 つずつあげていく。そうすることによって、子どもが自分の中で少しでも気持ちが整理できるのではないかと思うので、実践していきたいです。